

新県立大学に関する長野市議会・経済団体からの意見(概要)

〔長野市議会〕(H27.4.17 長野市議会議員との意見交換会)

- 4年制大学の設立は長年の願いであり、長野市内に設置が決まったことは大変喜ばしい。
- 丁寧で質の高い、個性を大切に教育を行っていただけるということで感動した。
- 後町小学校跡地に全寮制の寮を建設すれば、若い方々が街なかで暮らしていただければ、地域の活性化に繋がる可能性がある。寮の中で完結することなく、若い人の力を活かして、地域の方々とも交流し、長野市のまちづくりに寄与していただきたい。
- 新しい県立大学の魅力は、所在市の魅力にもなる。大学を良くするために、長野市にどんどん要望を出していただきたい。
- 寮生活で人間関係性が培われることは非常に大切。海外に出ていく時は、自分を主張し、自国を誇りに思わなくてはいけない。
- 海外プログラムの義務化や1年次の全寮制があり、費用がかかることが想定される。様々な家庭状況がある中で、学生全員に同じ機会が得られるように配慮願いたい。
- 大学の特色が広く社会に認知されるためには、卒業生が社会に出て活躍して評価されることが必要。
- 受験生にとっては、新県立大学がどの程度のレベルかということが指標の一つになる。
- 高いレベルの大学をきちんと目指して受験生を募集していけば、学生は県内に残っていく。
- 大学の設置目的の一つに、「県内経済発展と地域社会の未来を担う自立した人材の育成」とあるが、長野市は水と緑が豊かなので、森林・水・温泉・地熱を使った自然再生エネルギービジネスによる地域活性化にも力を入れる必要がある。

〔長野県中小企業団体中央会〕(H27.4.23 長野県中小企業団体中央会 理事会)

- 理事長・学長予定者の話を聞いて、大変期待できる大学だと理解できた。
- 県短期大学では海外留学する学生もおり、非常に高いモチベーションを持っている。新しい県立大学ができて、今の県短期大学の良い状態を保ってもらいたい。
- 慶應大学の湘南藤沢キャンパス(SFC)でのベンチャー育成が理想形。イノベーションや起業家的な発想を持っていないと、企業では何も産まれない。是非、慶應大学SFCと連携した教育を行ってほしい。
- 実社会で仕事をやっていく中で、グローバル化は急務。日本人は海外に出ると押しが弱い。海外の人に自分の意見を納得させることが不得手な社員が多い。日本人の特性を知った上で、海外でどう振る舞うべきかを教育していただくと有り難い。
- 大変期待のできる大学ができることになり、心強く思う。新大学が評価を得るには、卒業生が実社会でどのような活躍をするかにかかっており、ある程度時間がかかると思う。